

「希望のまち」周辺地域の特徴と  
「希望のたまご委員会」の成果と課題  
－活動に参加しながら考える－

3年 太田乃愛 吉川治希 吉田伊吹

# 希望のまちの紹介

○そもそも「希望のまち」とは...

「希望のまちプロジェクト」は、NPO法人抱撲が進めている事業で、北九州市に様々な機能を持った複合型社会福祉施設を建設し、そこを拠点に子どもや若者を含む全世代が地域で共に生きていくための拠点として再生させる事業です。

(出典：NPO法人抱撲Webサイト <https://www.houboku.net/pj/kibou/>)

# 希望のたまご委員会の紹介

## 活動目的

希望のまちの建築が始まるまでの期間、建設予定地で地域住民に様々な地域活動を通して希望のまちプロジェクトをしてもらおう  
建設後も希望のまちに足を運んでもらおう

## 活動内容

- ①毎週火曜日：ミニマルシェ
- ②不定期：おしゃべりカフェ、まちの先生（アート、浴衣着付けなど）
- ③毎月1回：地域清掃、庭作業
- ④1年3回程度の大イベント：相談会&パントリー、マルシェ、竹あかり、星空映画会



2023年7月～2024年1月で、イベント32回、参加人数443人、うち新規98人

# 目的

- ①NPO法人抱樸やstudio-Lの「希望のたまご委員会」の活動成果はどのようなものか。
- ②抱樸やStudio-Lが行った活動の整理。
- ③それらの活動にはどのような効果と課題があったのか。
- ④神岳地域の歴史を調査し、よりよい支援に繋げる。

※時間の関係で④については割愛

# 方法

- ①・②希望のまちプロジェクトの定例会議に参加し、資料を整理するとともに、活動成果等に関するインタビュー調査を行う。
- ③抱樸やStudio-Lの方々に手応えを聞き、そこで出た効果や課題について、既存の文献なども参照しながら、考察する。
- ④神岳地域の歴史等に関する資料やデータをまとめ住民にインタビューを行う。

※時間の関係で④については割愛

# 今回の研究での活動内容

7/29 マルシェ・相談会

10/17 まちの先生1 筆文字ポストカードを作ろう

12/2 竹あかり

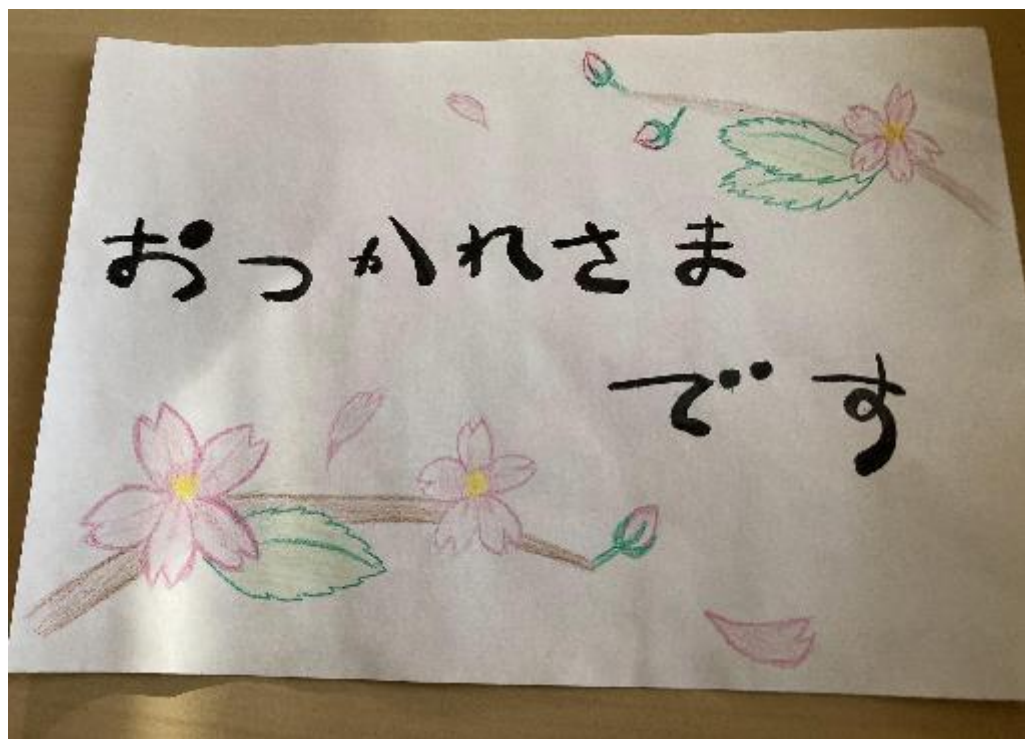
12/12 まちの先生2 クリスマスオーナメント (i-Design生企画)

- 定期的に行われるたまご委員会への参加

## まちの先生① 筆文字ポストカードを作ろう

### 活動内容

「SUBACO」にて、筆文字とイラストを描いたポストカードを作成。





## まちの先生① 筆文字ポストカードを作ろう

### 成果

初めて参加した地域の方がおり、「希望のまち」の活動について知ってもらえた

### 課題

段取りがうまくいかず、抱樸スタッフの方に頼ってしまう場面があった

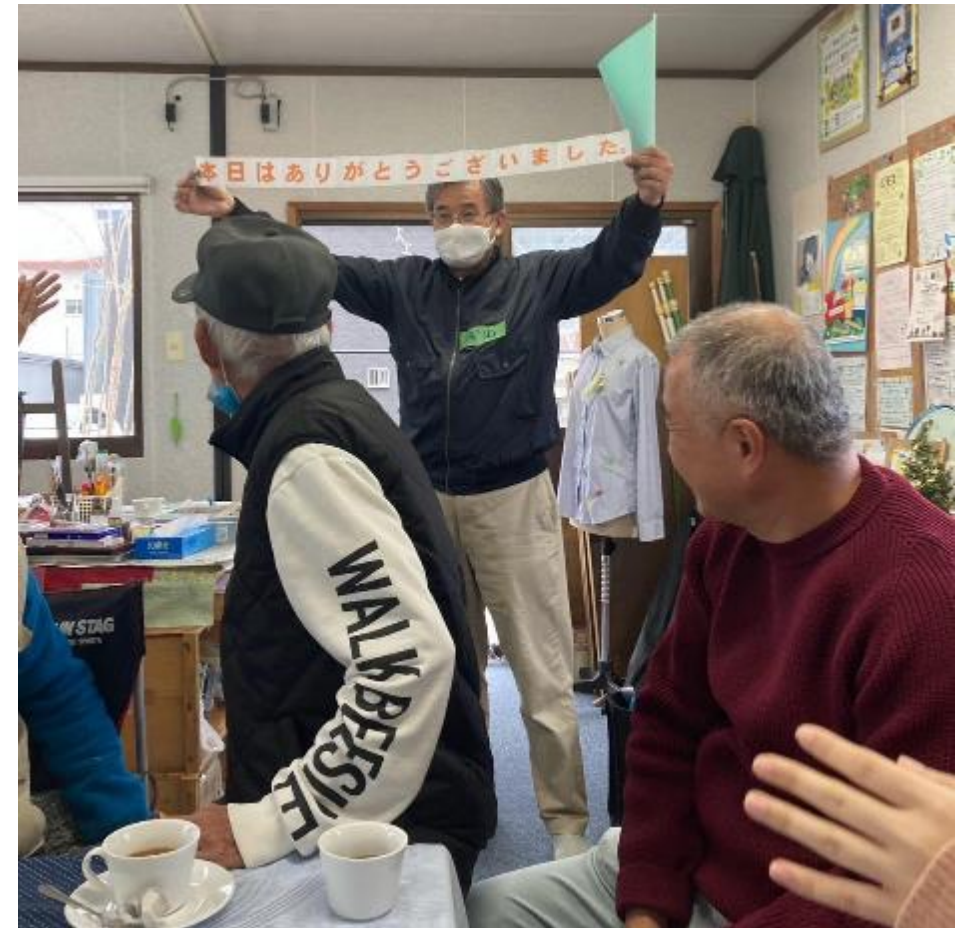




## まちの先生② クリスマスオーナメント (i-Design受講生企画)

### 活動内容

「SUBACO」にて、紙粘土を使ったクリスマスオーナメントを作成。



## まちの先生② クリスマスオーナメント (i-Design受講生企画)

打合せ・予行練習も合同で実施



# 7/29 マルシェ・相談会

・・・暮らしのことや仕事のこと、あらゆる悩み事を相談できるイベント。また、希望のまち予定地で米や保存食などの食品を配ったり、フードパントリーを行う。

## ・活動内容

設営

フードパントリーの手伝い、各ブースの手伝いなど





2023/07/29 15:49



# 12/2 竹あかり

- ・・・「小倉城竹あかり」のコンセプトに賛同し、  
「希望のまち」予定地で竹あかりを開催した。

- ・ 活動内容  
竹あかり制作の手伝い  
お客さんとして参加











2023/12/03 17:51



# 希望のたまご委員会 地域コーディネーター下田さんインタビュー

Q1. 希望のたまご委員会の効果について

A1. 地域の人に認識してもらえていること

- ・ 市民センターに毎月イベント情報のカレンダー（チラシ）を配る
- ・ たまご委員会として市民センターの行事に参加する
- ・ まちの先生で、市民センターの体操クラブの方に講師として来てもらう
- ・ 毎月の地域清掃

→このような活動を続けていることで、地域の人に認識されてきている

# 希望のたまご委員会 地域コーディネーター下田さんインタビュー

Q2. 希望のたまご委員会の課題について

A2.

- 子ども、子育て世代、若者世代が、行ってみたいと思える場所づくり
- 抱樸とつながっていない、何も知らない新規の人とどのようにつながるか
  - ・興味を持ってもらえるポイントをどう作るか
  - きっかけとしてイベントを実施など
- 活動拠点が工事でなくなってしまうため、拠点がなくなった後で、すでにつながっている人とどのようにつながり続けていくのか
  - 地域マップを作る、近況を話せる場をつくるなど

# 希望のたまご委員会 地域コーディネーター下田さんインタビュー

Q3. 希望のたまご委員会の苦勞について

A3. 様々な場所に出向き、つながりを作ろうとコミュニケーションをとった

- ・挨拶や声掛け（市民センターや地域清掃、地域行事への参加）
- ・知ってもらえるまで時間がかかった

→多くの人と知り合い活動を認知してもらえると、できることの幅も広がる

# 希望のたまご委員会 地域コーディネーター 下田さんインタビュー

Q3. 地域コーディネーターから見て、**まちをつくる**とは

A3.  
何をもってまちづくりとするのか  
→住んでる人がいいまちだなと思う + 外から来た人もいいなと思う

魅力のあるまち → また来たいと思うまち  
自然と地域の人と交流できるまち

地域の人たちとの交流など、見えないところを構築すると表面にも現れる

# まとめ

## 成果

さまざまな活動を通じて、  
地域住民の「希望のまち」の認知度は上がってきている

## 課題

子ども、子育て世代、若者世代など、新規の人とどのようにつながるか  
興味を持ってもらえるきっかけとしてイベントを実施など

## 今後について

活動拠点がなくなった後、すでにつながっている人とつながり続けていくために  
地域マップを作る、近況を話せる場をつくるなどの活動を続けていく

# 希望のまちを通じた地域づくりについて

暴力団事務所があったことなどから人とのつながりが希薄、  
怖い土地などのマイナスイメージ



授業ではわからないような、**長期的で地道な活動**  
声掛け・イベント・情報発信  
活動を継続させていく



希望のある地域へと**イメージアップ**させ、  
**人とのつながり**を増やす